

2021.12.17

朝日カルチャー「野外の自然観察」

春日公園「公園の落ち葉と冬芽・常緑樹」

風が強く寒い1日でしたが14名の参加者とスタッフ3名の17名で春日公園の樹木を観察して回りました。春日公園は昭和天皇在位50年を記念して造られたことなどの説明をして樹木観察の始まりです。説明を聞き観察をしながら、紅葉した葉や色づきの素敵な葉を拾っておいて下さいとお伝えしていましたので、落ち葉拾いが楽しそうでした。



見上げればたくさんの赤い実をつけたクロガネモチ、上品に赤い実をつけているカナメモチ、足元にはウバメガシやマテバシイやアラカシなどブナ科のどんぐりがびっしりです。イスノキの虫こぶも確認して、ホルトノキとヤマモモの見分け方など皆さん熱心にメモを取られます。ヌマスギとメタセコイアの違いも確認し、フウとモミジバフウの葉と実をひろって違いをしっかりと脳にインプットです。それでも時々混乱してあちこちで笑いが起こります。アメリカスズカケとスズカケノキの雑種がモミジバスズカケという説明に、葉の違いを皆で確認するのですがこれがとても難題でなかなか区別が付きません。これらはみなスズカケノキ属に属するので、属名のプラタナスということで一件落着。

昼食の後、集めた落ち葉をつないでドア飾りを作る予定でしたが、突風のため作り方の説明をして宿題としました。皆さんきっと素敵な作品を作っておられることでしょう。

そのあと春日神社まで歩き11本のクスノキで形成された杜を散策して、風と寒さのため春日神社で早目の解散となりました。



スタッフ 薛 戸町 (記 戸町)